

アンケート内容の変更について

これまで教員個々及び組織としての教育活動の内容と方法の改善を図るため、科目ごとに授業アンケートを実施してきましたが、本大学院の定員数は、博士前期課程が8名、博士後期課程が2名であり、科目ごとの有効回答数が少なく、匿名性の担保、経年比較が難しいことから、2023年度よりアンケート内容を従来の各授業に対する質問項目等を含む、大学院の教育活動・環境全般に関する内容に変更を行っています。

群馬パース大学大学院 FD委員会

2024年度 大学院生対象 アンケート調査結果

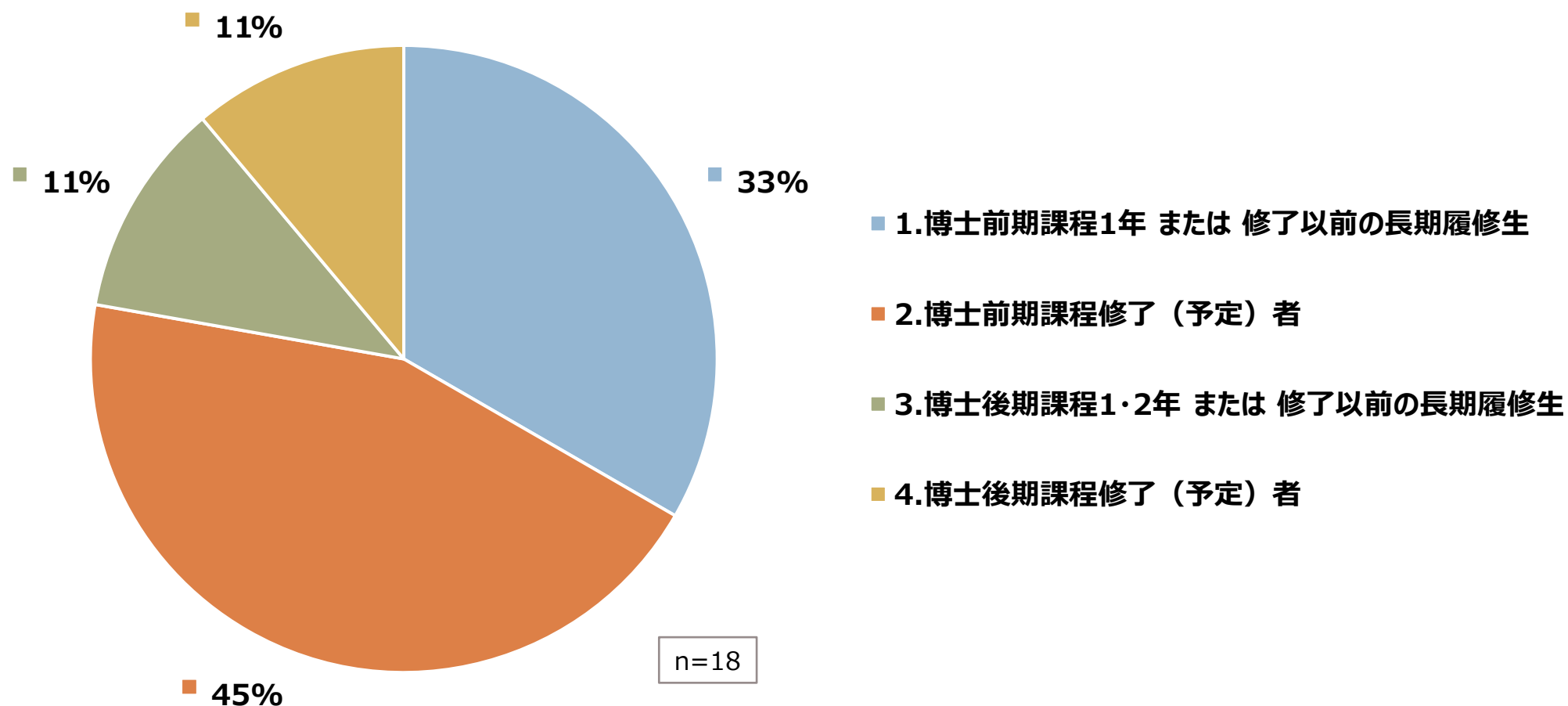
- 実施目的 教員個々及び組織としての教育活動の内容と方法の改善を図るために必要な取り組みを行い、大学院教育の質向上に資するため。
- 実施日 2025年1月31日 ～ 2025年2月28日
- 実施方法 Microsoft Formsにて回答
- 対象 大学院博士前期・後期課程 在学生24名
(2025年1月時点在籍者)
- 回答数 18 (回答率：75%)

大学院生対象アンケート調査 質問構成

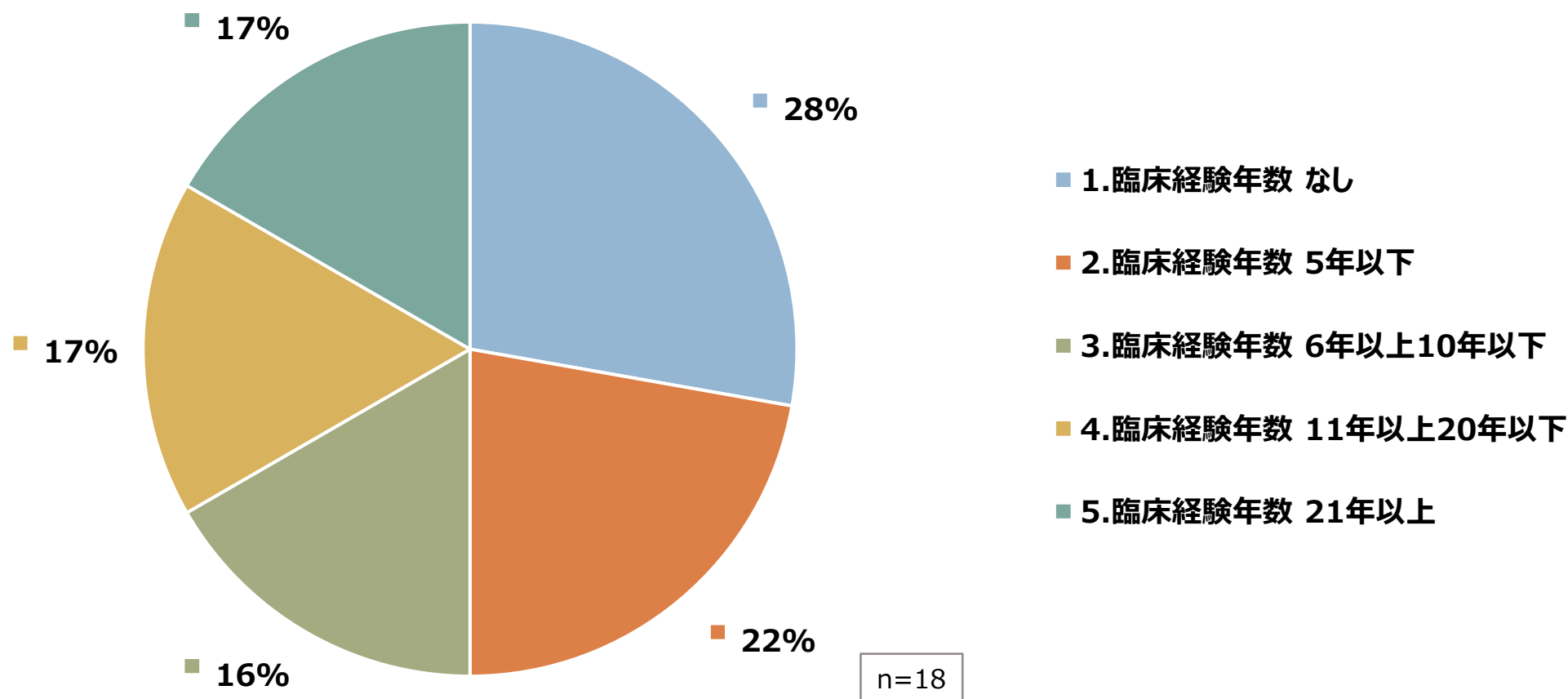
- **【基本情報について】**
- **【①進学意識について】**
- **【②大学院の教育・研究について】**
- **【③施設・設備について】**

【基本情報-01】 属性

(2024年度時点の情報を選択してください。)



【基本情報-02】 臨床経験年数 (2024年度時点の情報を選択してください。)

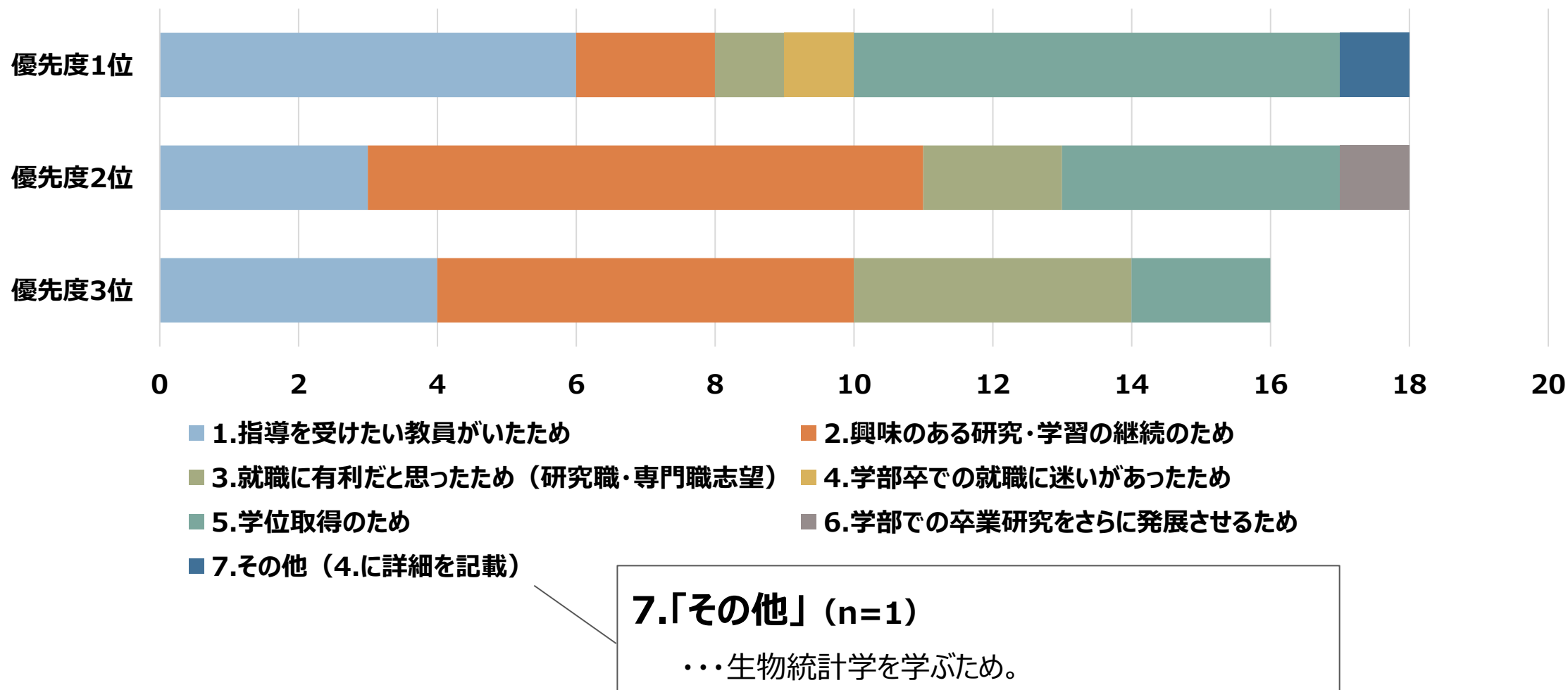


【①進学意識について】

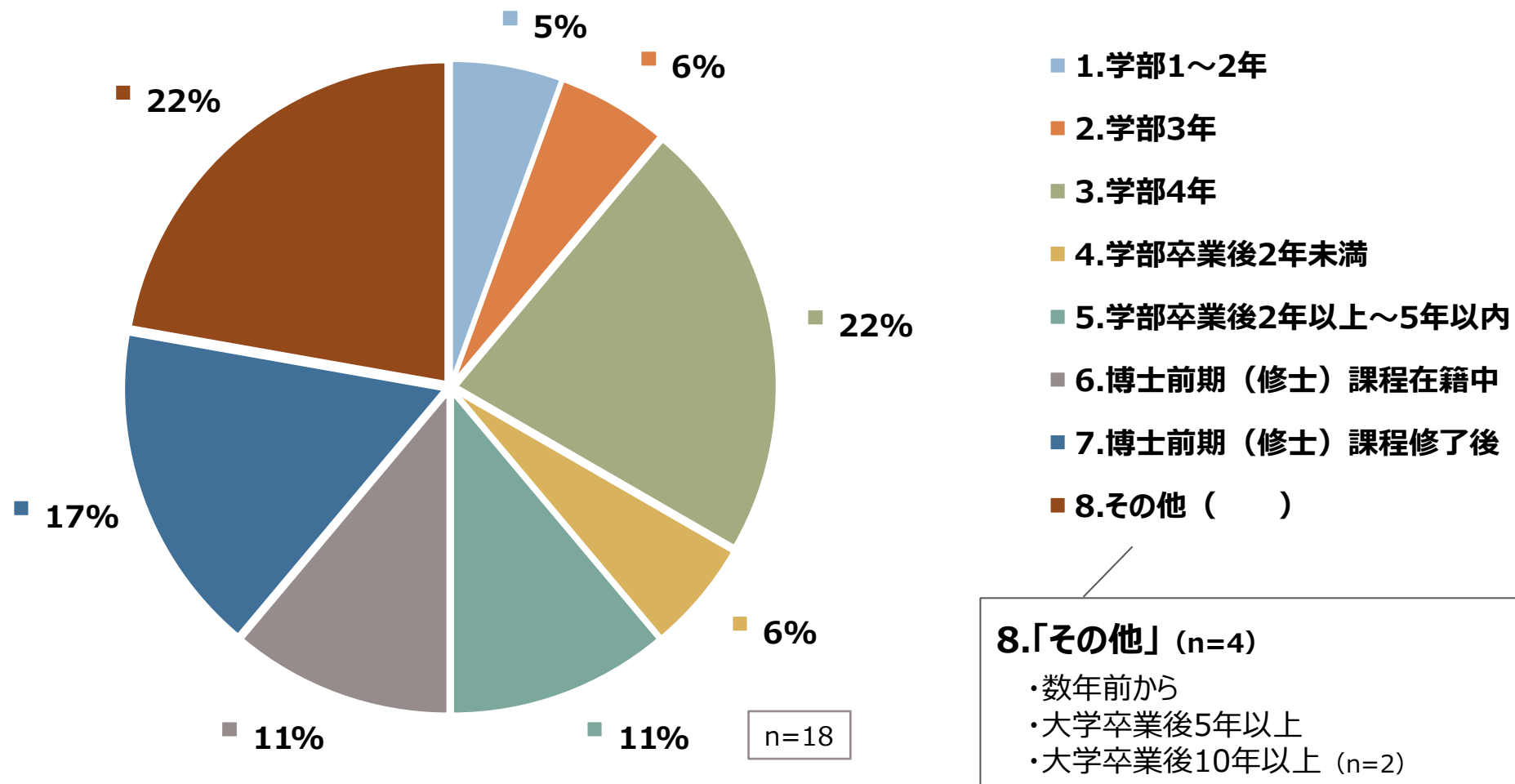
- Q①-01. 大学院進学の目的を教えてください。
(最大3つ：優先度の高いものから順に回答してください)
- Q①-02. 大学院（あなたが在籍している課程）への進学を決めた時期を教えてください。
- Q①-03. 本学大学院を受験した動機を教えてください。
(最大3つ：優先度の高いものから順に回答してください。)
- Q①-04. 他大学大学院の受験状況を教えてください。
- Q①-05. <Q①-04>（他大学大学院も受験した）と回答した方にお尋ねします。
他大学を受験した理由を教えてください。
- Q①-06. 大学院入学試験に関する情報収集手段を教えてください。

Q①-01.大学院進学を教えてください。

(最大3つ：優先度の高いものから順に回答してください。)

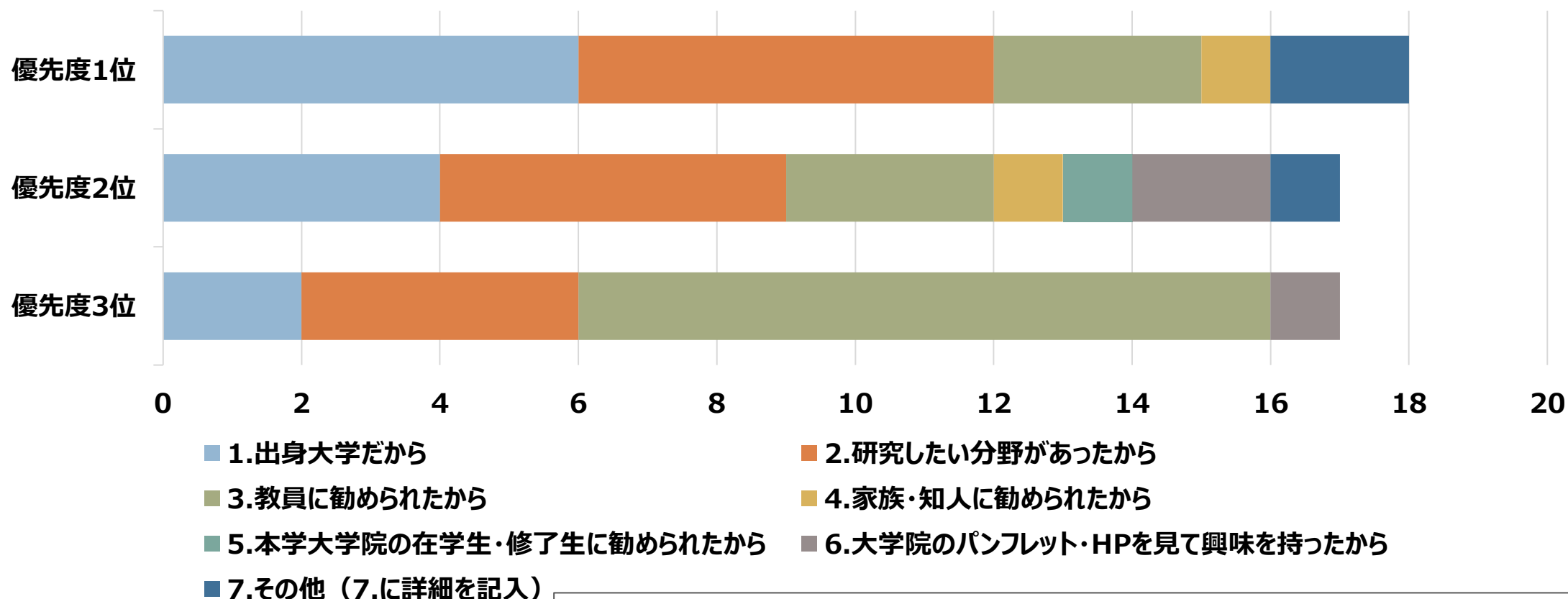


Q①-02. 大学院（あなたが在籍している課程）への進学を決めた時期を教えてください。



Q①-03. 本学大学院を受験した動機を教えてください。

(最大3つ：優先度の高いものから順に回答してください。)



7.「その他」(n=3)

- ・職務と大学院における学業の両立が考慮されていたため
- ・自宅から近いため
- ・学部生の時に医療統計の先生から影響を受けて、統計学を学び始め、もっと深めたいと思ったから。

Q①-04. 他大学大学院の受験状況を教えてください。



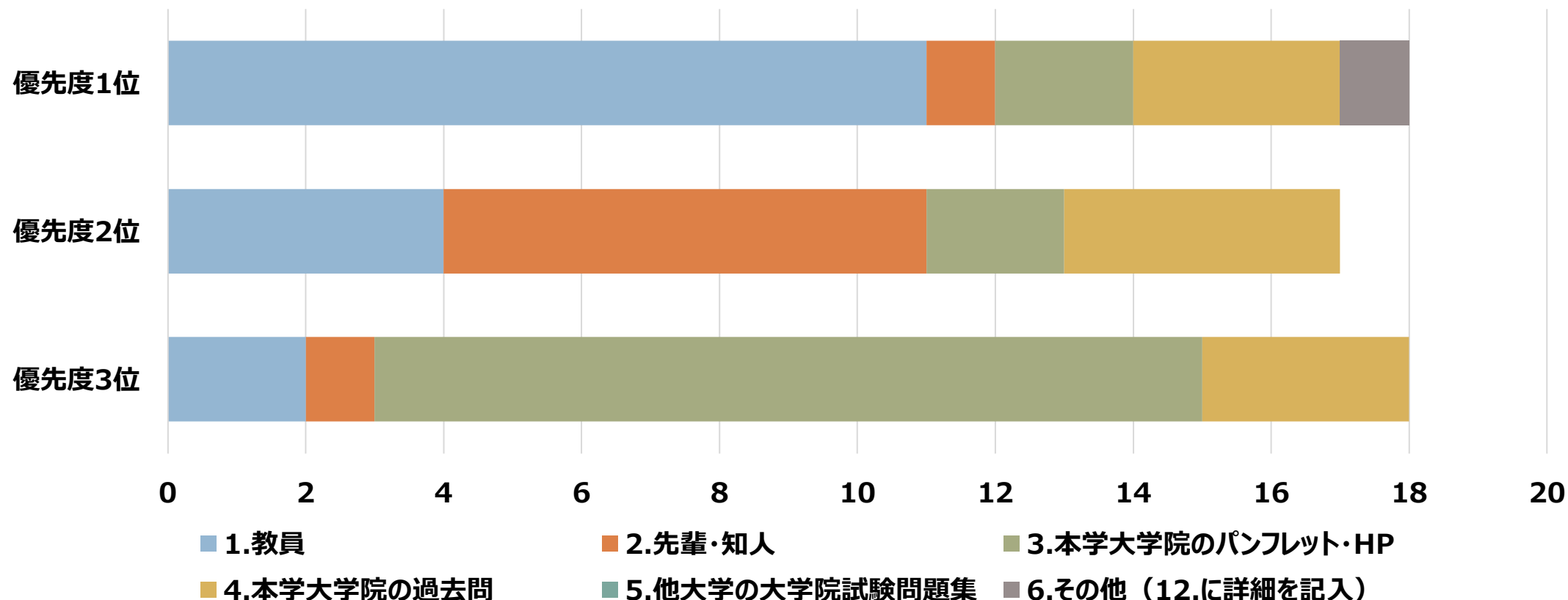
Q①-05. <Q①-04>で1.（他大学大学院も受験した）と回答した方にお尋ねします。他大学を受験した理由を教えてください。 （最大3つ：優先度の高いものから順に並び変えてください）

n=2

- | | | |
|---------|---------------------------|----------------|
| <優先度1位> | ・教員に勧められたから | ・その他（金額） |
| <優先度2位> | ・大学院のパンフレット・HPを見て興味を持ったから | ・出身大学だから |
| <優先度3位> | ・研究したい分野があったから | ・家族・知人に勧められたから |

Q①-06. 大学院入学試験に関する情報収集手段を教えてください。

(最大3つ：優先度の高いものから順に並び変えてください。)



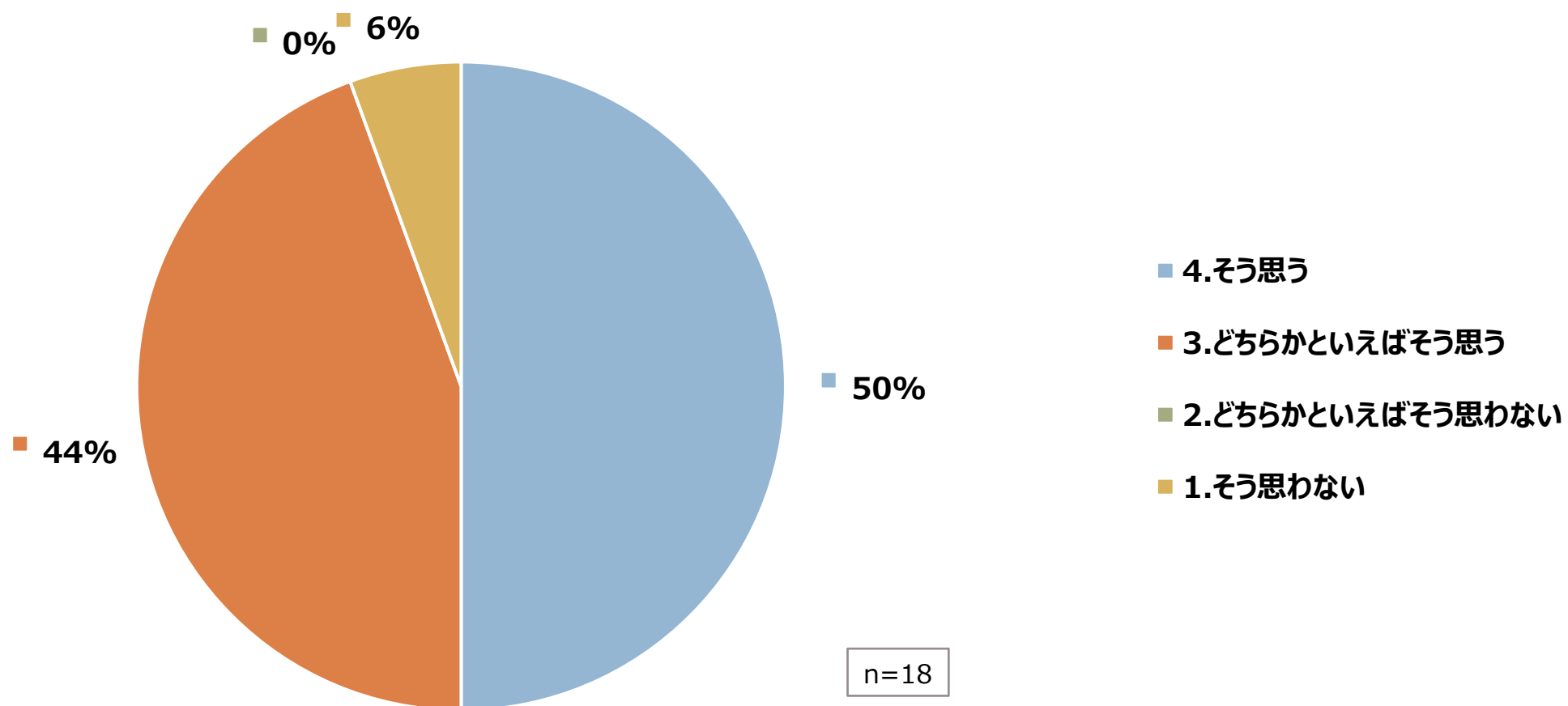
6.「その他」(n=1)

・・・すでに目的とそれに関する情報があったので、特別情報収集はしなかった。

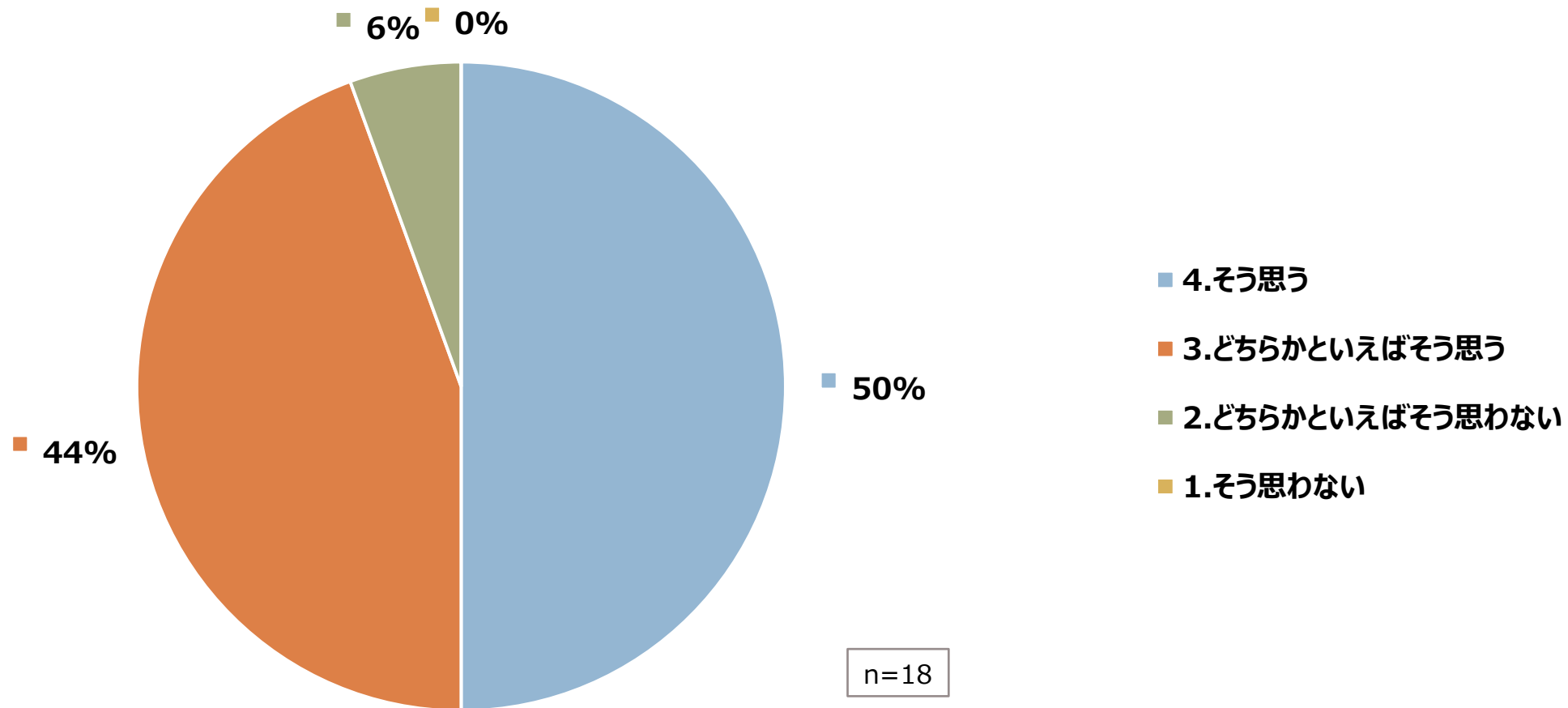
【②大学院の教育・研究について】

- Q②-01. 授業方法や用いられた教材等に満足することができた。
- Q②-02. 時間割やカリキュラムについて満足することができた。
- Q②-03. 授業の内容は実践力や基本的な研究能力向上に役立った。
- Q②-04. 教員の授業に対する取り組みに熱意が感じられた。
- Q②-05. <Q②-04.> のように回答した理由を自由に記述してください（回答任意）
- Q②-06. 受講してよかったと思う講義を理由と併せて挙げてください。（回答任意/複数ある場合は全て記入）
- Q②-07. 研究計画立案、研究遂行に必要なデータ分析方法など、研究に関して適切な指導を受けられた。
- Q②-08. 論文作成や研究発表に関して指導教員から適切な指導を受けられた。
- Q②-09. 研究のための実験環境・調査環境は十分だった。
- Q②-10. 履修や各種手続きなど、修学支援における事務職員の対応について満足することができた。
- Q②-11. 総合的に判断すると、本学大学院における教育・研究について満足することができた。
- Q②-12. 教育・研究に関して意見・要望等がある場合は自由に記述してください。（回答任意）

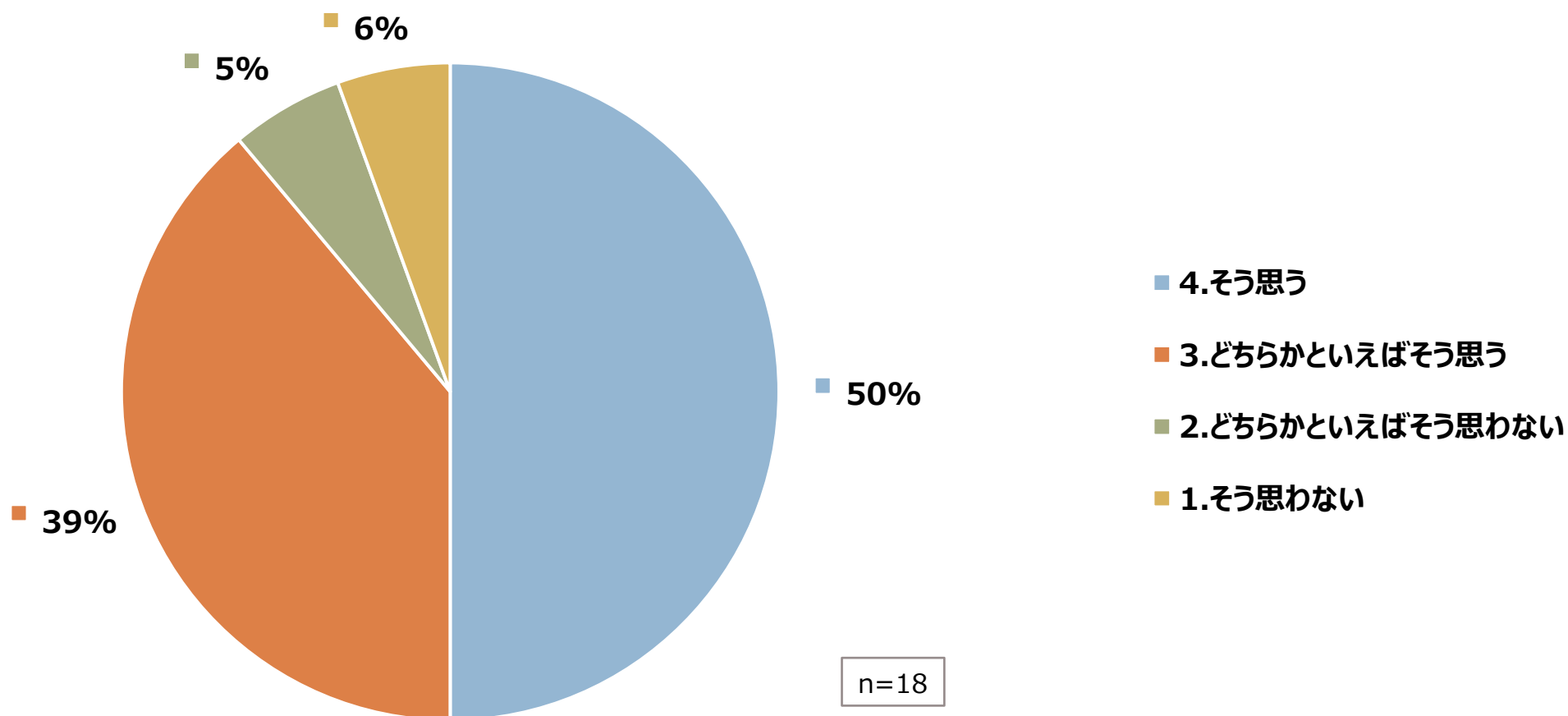
Q②-01. 授業方法や用いられた教材等に満足することができた。



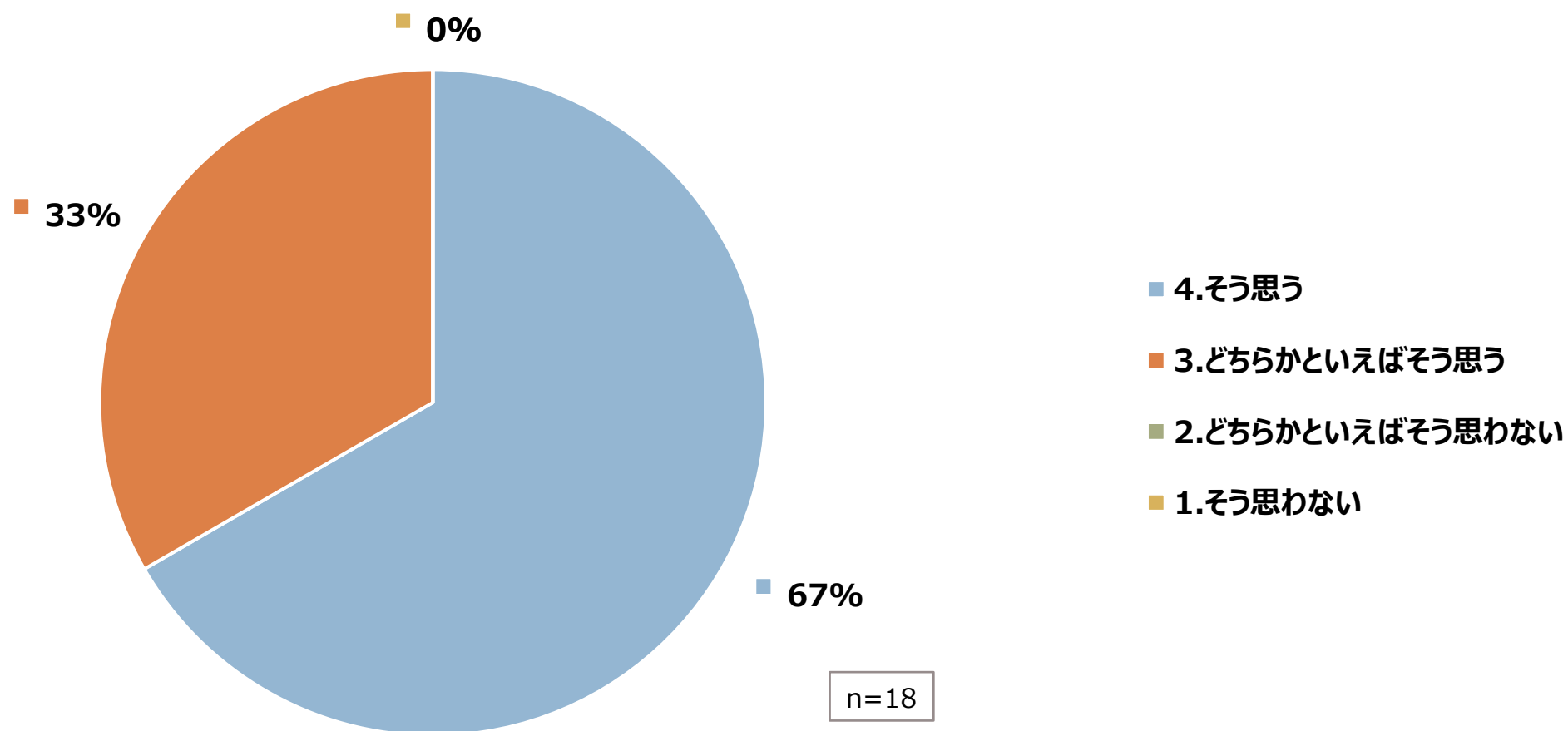
Q②-02. 時間割やカリキュラムについて満足することができた。



Q②-03. 授業の内容は実践力や基本的な研究能力向上に役立った。



Q②-04. 教員の授業に対する取り組みに熱意が感じられた。



Q②-05. <Q②-04.> のように回答した理由を 自由に記述してください（回答任意）

自由記述

学生が興味を持てるような、研究に活かせるような授業展開をしてくださっていた。

各先生方、ご自身の研究テーマなどをもとに授業を行っていただいたから。
ただ、分野が違ふことで前提条件の説明が必要であったり、共通項目を見いだしてお話しいただくことが大変であったように感じました。

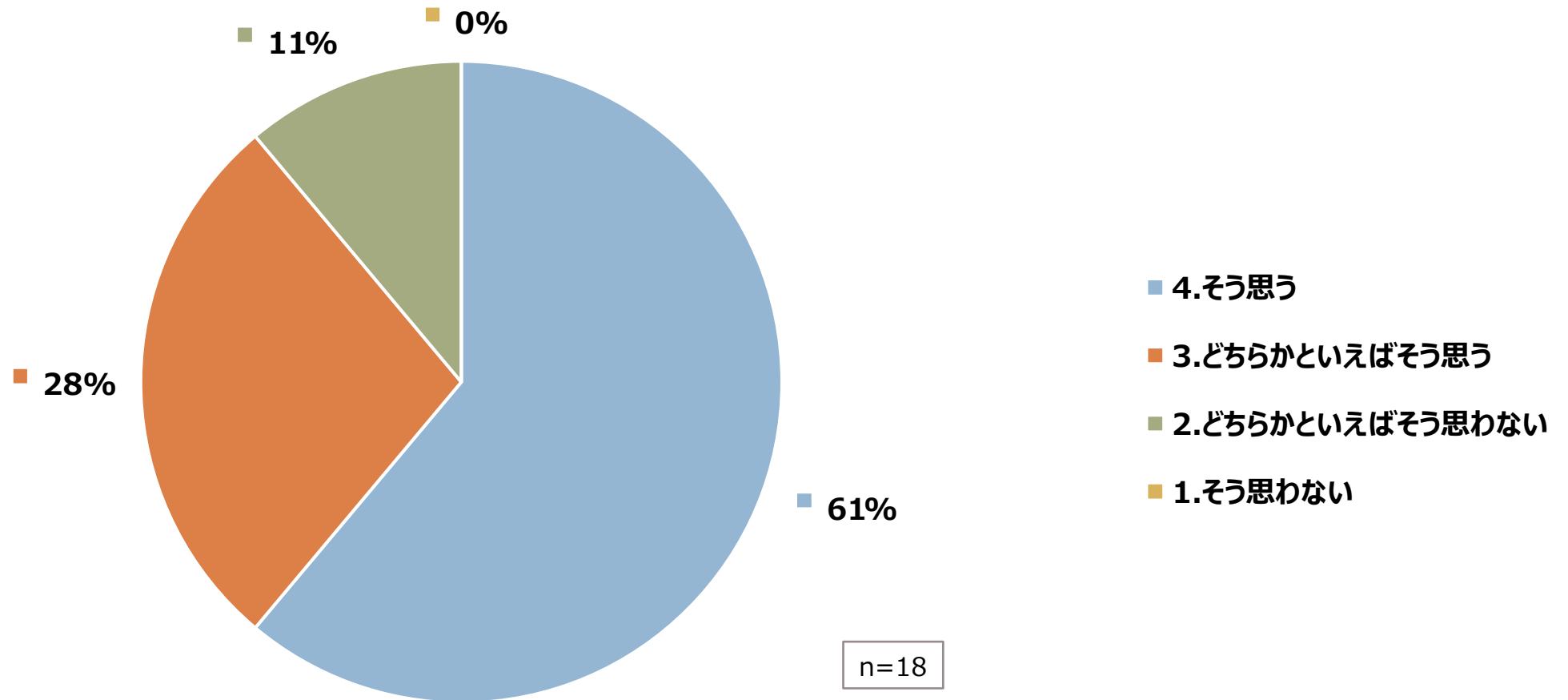
疫学、統計学、公衆衛生学特論、ヘルスコミュニケーションでは、ディスカッションもですが、何より先生の気持ちを強く感じた。

Q②-06. 受講してよかったと思う講義を理由と併せて挙げてください。

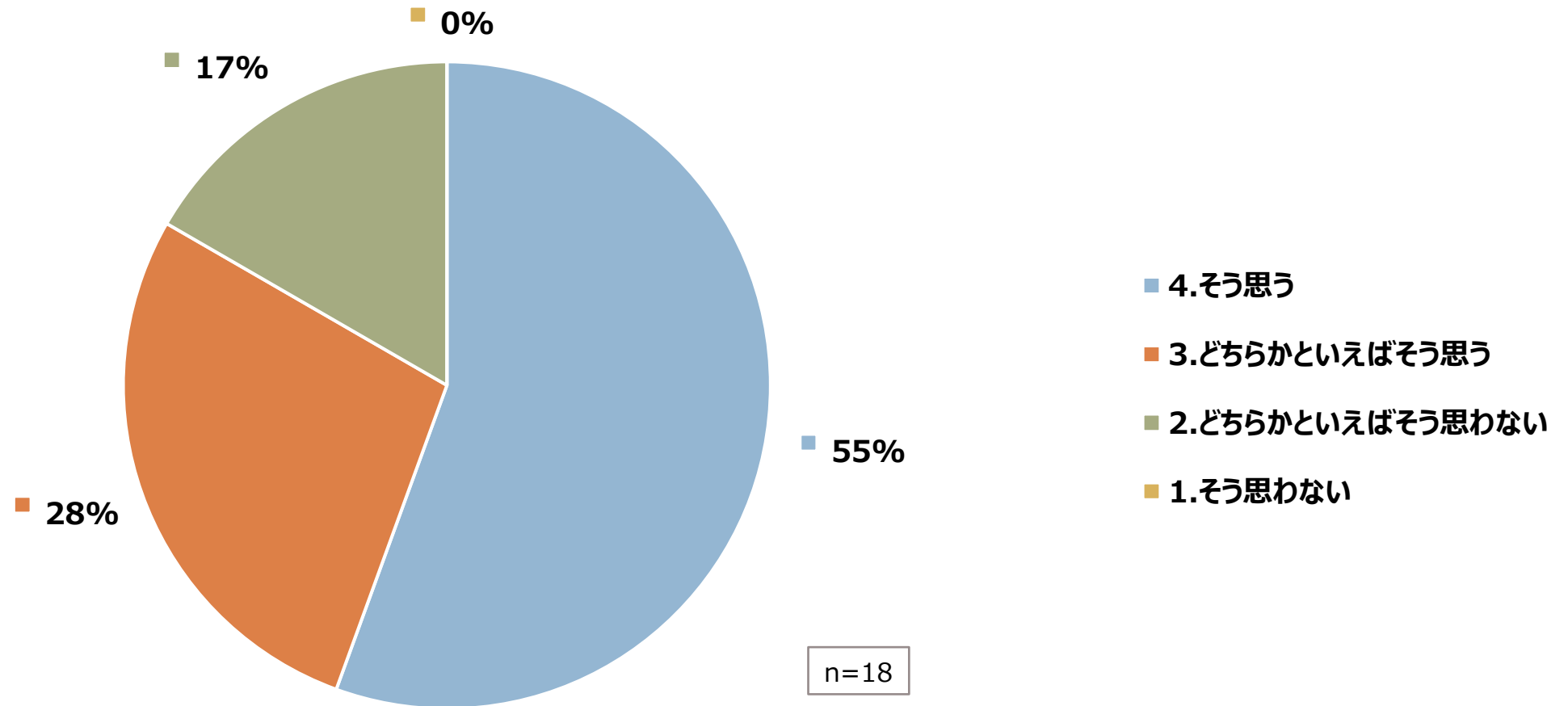
(回答任意/複数ある場合は全て記入)

区分	科目名	理由
共通	応用英語	英語の論文への抵抗が少なくなった。
共通	応用英語	プレゼンテーションを行う上でのポイントを知ることができた。英語を読む機会ができた。
共通	家族学社会学特論	自身の興味のある分野であったため、今後の研究課題への視野が広がった。
共通	保健医療統計学特論	統計の基礎を学ぶことができ、分析している過程の理解ができた。
共通	生命研究倫理論	体系的に学ぶことができてよかったです。
病因・病態	生体分子情報検査学演習	学部では習うことのできない臨床検査の実践的な教育を受けることができたから。具体的には、自動分析装置の仕組みについてや吸光度に関する詳しい話などを実践的に学ぶことができた。医療機関等に勤務後に役立つ有意義な学びであったと思う。
公衆	疫学特論	担当教員の行政（感染研等）の第一線にいた視点でのコメントから、公衆衛生学の視点としてエビデンスを作るだけでなく、システムに反映させるマインドを得た。また、ウイルス学について、専門的な内容を視覚的にわかりやすく説明して頂いたので、とても理解が深まった。
公衆	生物統計学特論	自身の持つ知識は統計(処理)に留まっていたが、その根底にある動機とそれを満たす為の行動である、データ分析というマインドや感覚を得られた。これに気づけたのは私にとって一番の学びである。
公衆	データ統計解析学特論	丁寧に統計学を教えてもらった。先生のことはですが、統計学の学習は螺旋型であり、一回転して一段上がると教わった。今の理解につながったのはその丁寧な授業にあったのだと思う。
公衆	ヘルスコミュニケーション学特論	沖縄での研究も含めて、フィールドワークに出た時、実験に目がいく事で盲点となる、対象者の気持ちや文化、慣習、そういった数字にならないデータ、抑えるべき質の良いデータの取得につながる背景要因を学んだ。私にとって、この講義とフィールドワークの相互作用で公衆衛生の理解がとても深まった。

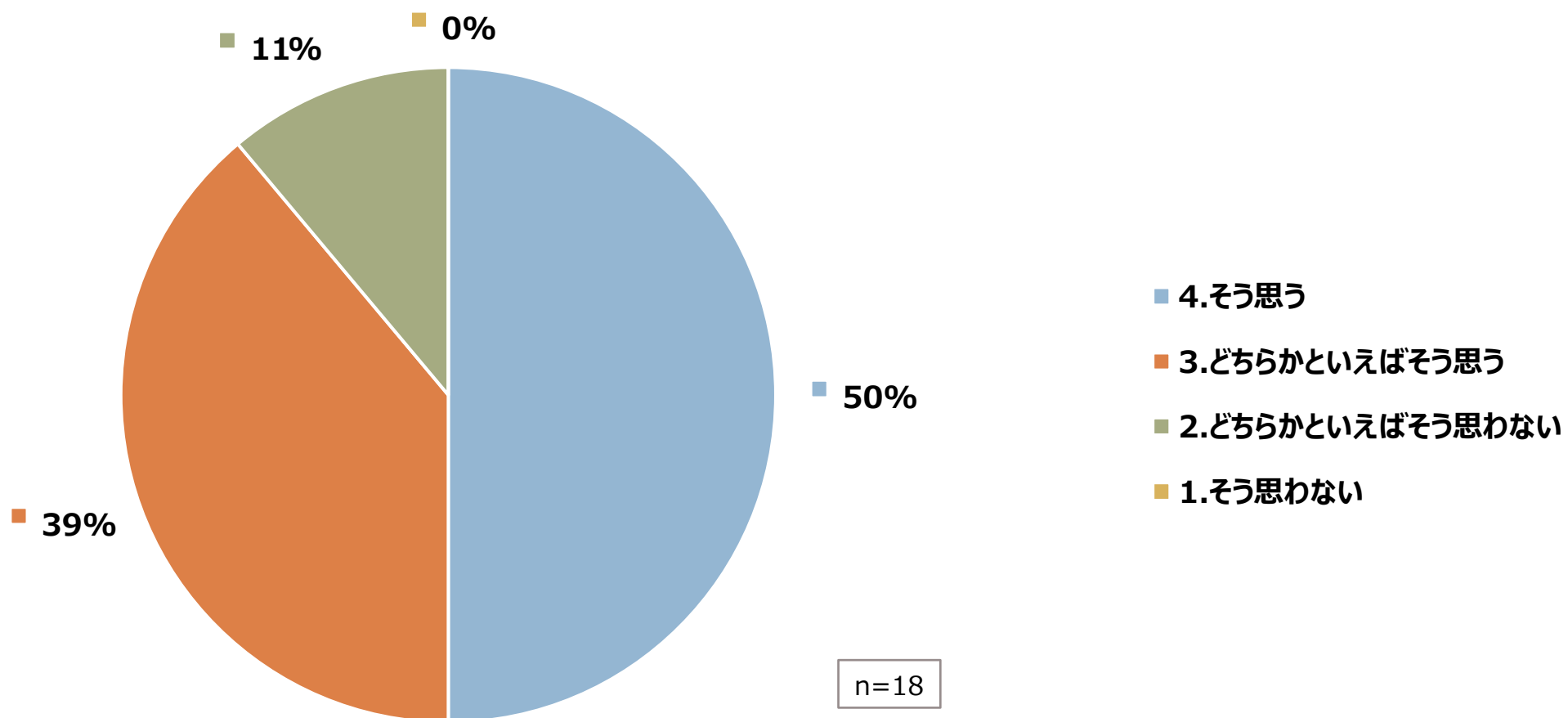
Q②-07. 研究計画立案、研究遂行に必要なデータ分析方法など、研究に関して適切な指導を受けられた。



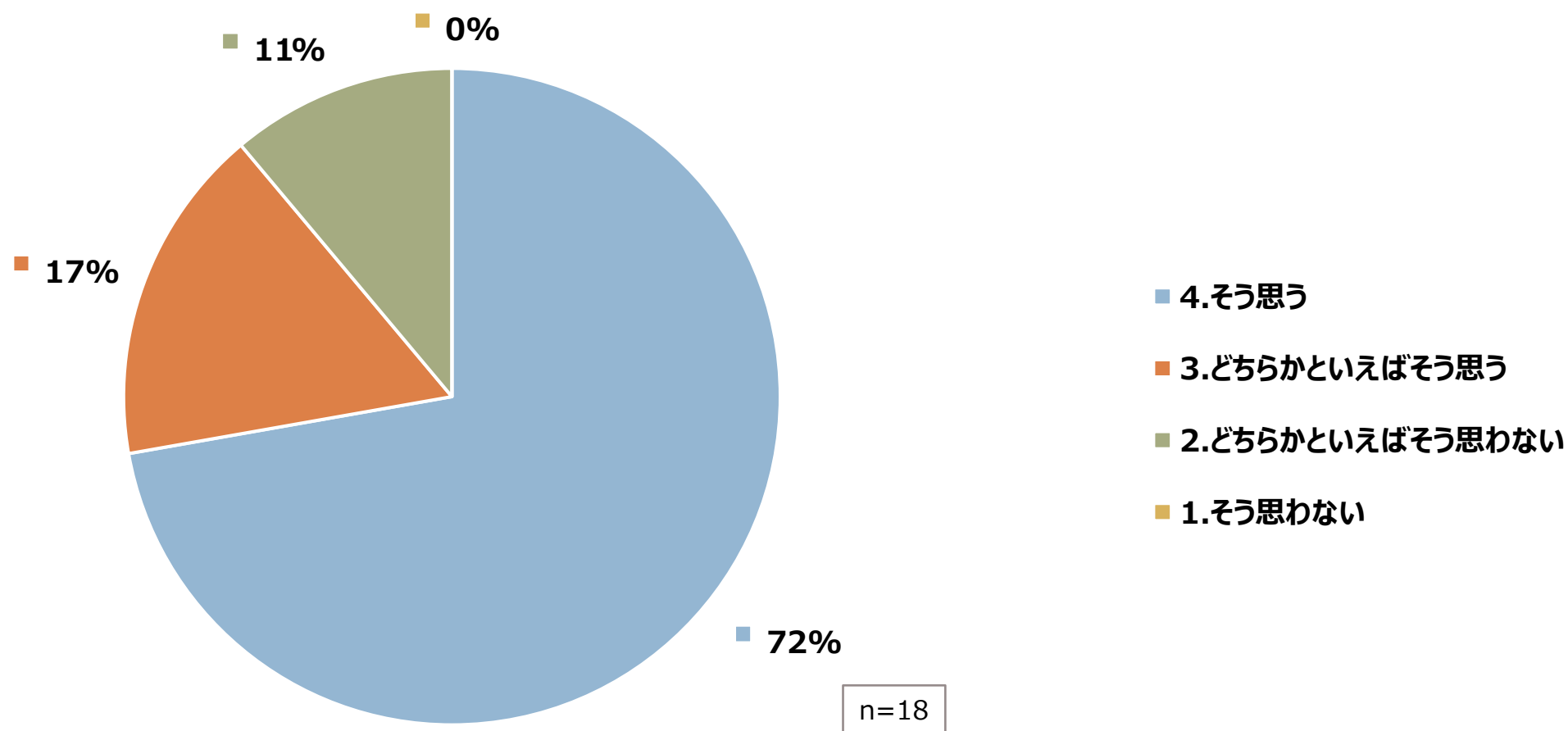
Q②-08.論文作成や研究発表に関して、指導教員から適切な指導を受けられた。



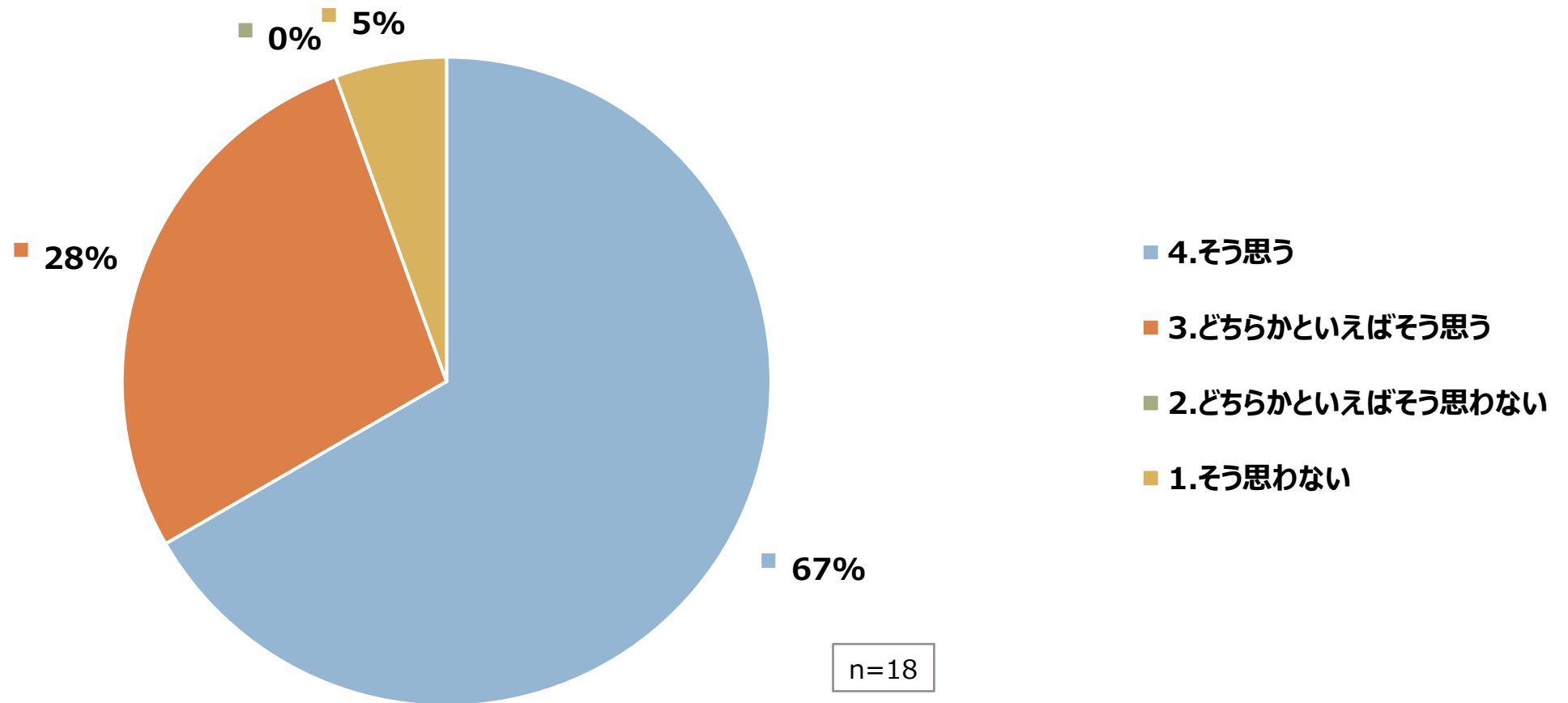
Q②-09. 研究のための実験環境・調査環境は十分だった。



Q②-10. 履修や各種手続きなど、修学支援における事務職員の対応について満足することができた。



**Q②-11.総合的に判断すると、
本学大学院における教育・研究について満足することができた。**



Q②-12. 教育・研究に関して意見・要望等がある場合は自由に記述してください。（回答任意）

自由記述

全ての講義を対面でする意味はあまりないと感じました。
Zoomなどをうまく活用し、履修しやすい環境にしていただけると助かります。

講義の内容について実践的なものがあると良いかと思います。
例えば、RやSPSSの使い方、文献検索の仕方、論文の書き方などを教えていただけると安心します。

大学院生に対する研究費の活用が不透明です。
指導教員に分配されるのですが、大学院生が使える金額や時期、手順などの説明がないので困りました。

疫学では感染症を蛋白質のメカニズム視点で切り込んだ講義をしており、ミクロの動きを学べ、生物統計学ではばらつきを前提とした集団を扱うので、マクロな動きを学べた。これらの視点は保健学を探究する上でどちらに今後興味を持つか重要な分水嶺となると思っており、両方を学べてよかった。当該科目を保健学研究科の他領域でも学べる様にしたら、選択の幅が広がった上で、一生涯の研究を選べるので良いと思った。

定かではないが、ヘルスコミュニケーション学が開講されなくなると聞いて、私は人を対象にした研究をする上で人間の感情的動きが研究協力度合いやそれに伴うアウトカムの出方に影響すると思うので、名残り惜しいと考えている。

【③-01. 施設・設備について】

- 次の施設・設備について、満足度を教えてください。

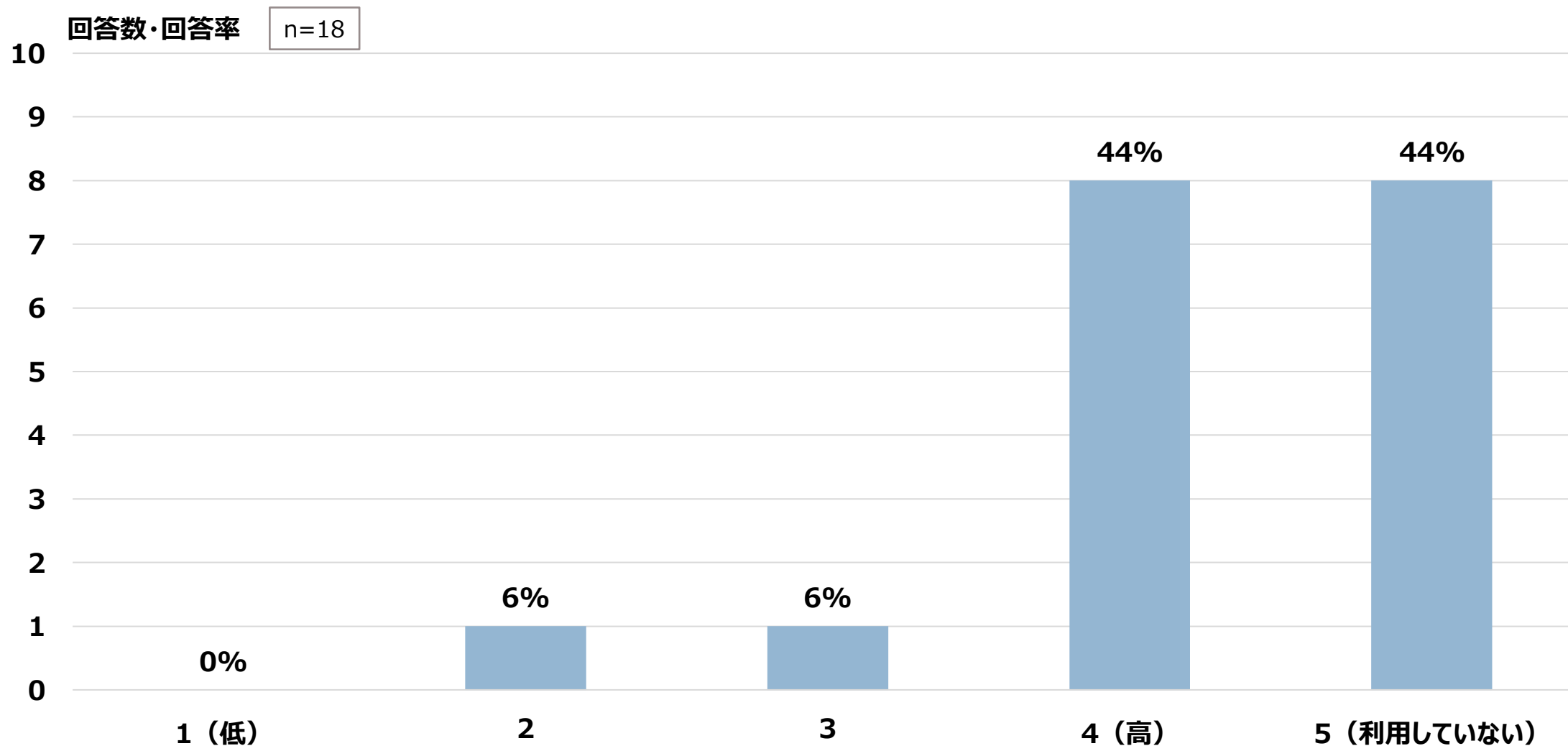
（低 | 1---2---3---4 | 高）

※利用していない人は「5」を選択してください。

- 大学院生室
- 図書館
- 学内無線LAN
- 学生プリンター

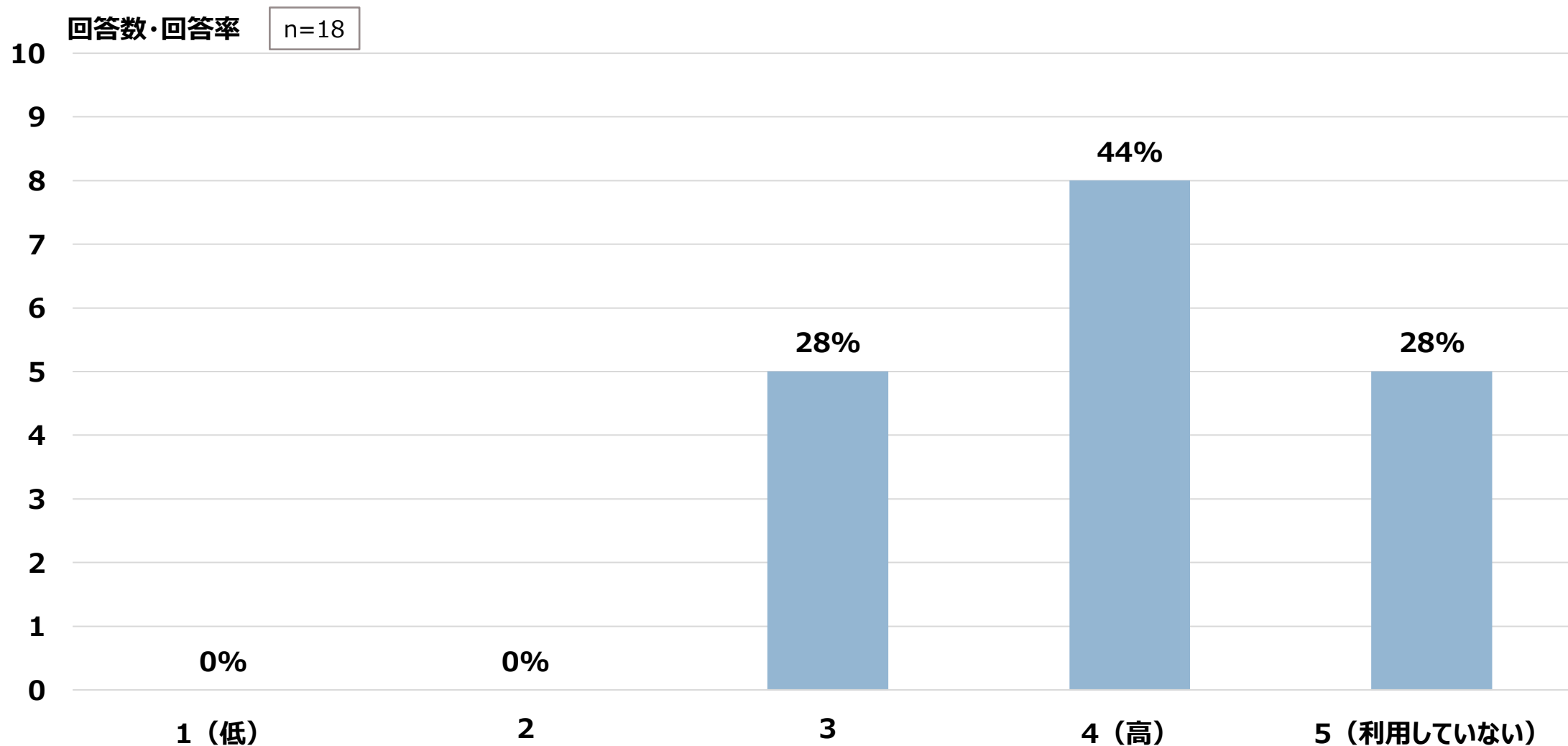
Q③-01- i . 満足度：大学院生室

満足度平均値：3.7



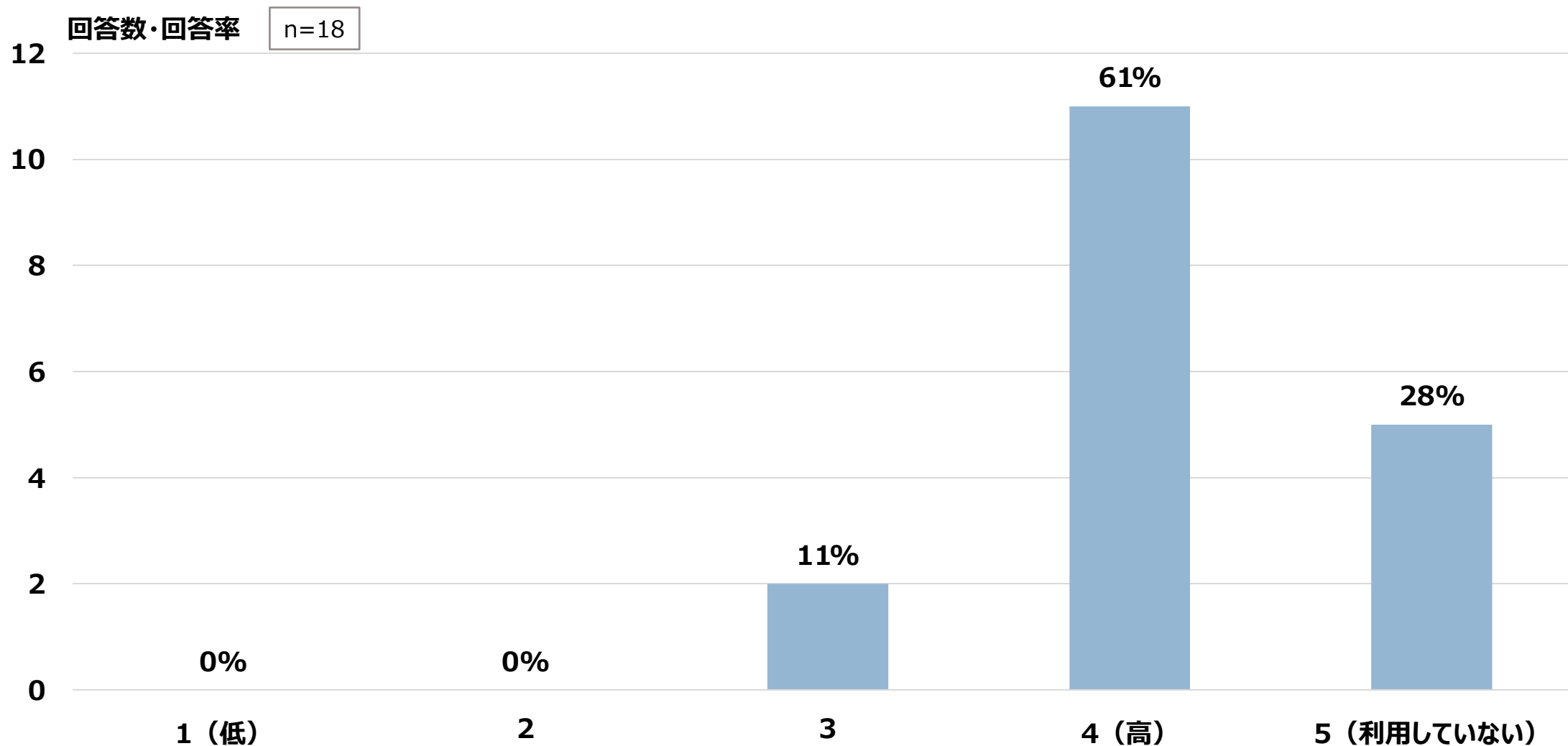
Q③-01- ii . 満足度：図書館

満足度平均値：3.6



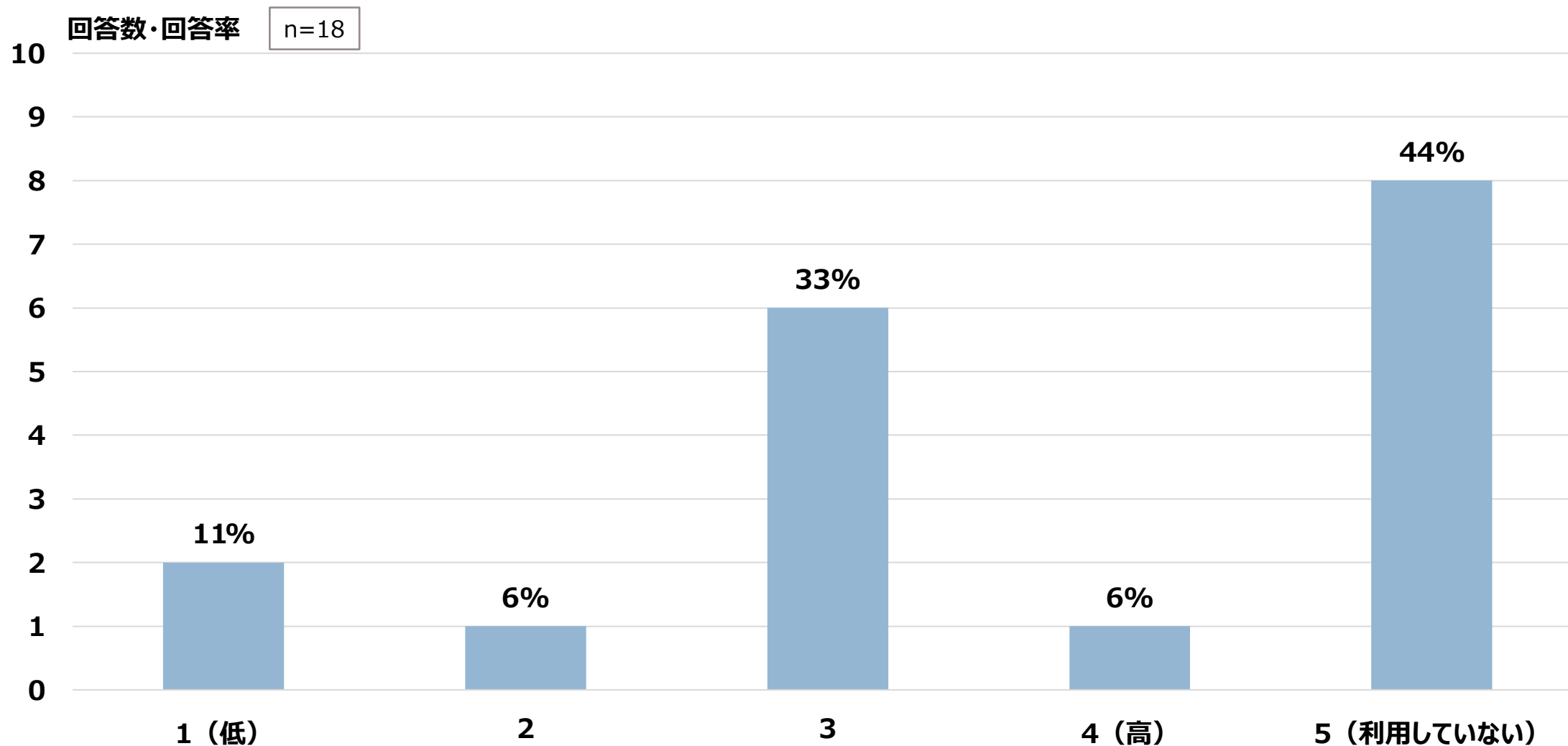
Q③-01-iii. 満足度：学内無線LAN

満足度平均値：3.8



Q③-01-iv. 満足度：学生プリンター

満足度平均値：2.6



Q③-02. 施設・設備等に関して要望がある場合は自由に記述してください。（回答任意）

自由記述

大学院生室のエアコンの作動が悪いです。

2号館6階トイレの水が、破裂音のような音と共に流れることがある（トイレ、水道ともに）。改善していただきたい。

学生プリンターの使用案内が少々わかりにくい。

難しい事は承知ですが、ペーパーカットでUSBを使った印刷をできる様にしていただけると助かります。修論等を印刷する場合に、ページ数は大きくなり、データ容量も大きくなります。通信回線を経由するにあたり、印刷できるまでに多くの時間がかかるので、短縮できる方法があると幸いです。